

## 「キリスト聖体の祝日（初聖体）」の説教

金 大烈 神父 2010年6月6日（日）

### 《ご聖体はカトリック教会の中心》

おはようございます。

この天使のような服を着ている初聖体を受ける21人の子供たちを見ると、自分の初聖体を思い出します。ちょうど40年前、私が小学3年生のときでした。司教座聖堂で受けました。数十人の初聖体を受ける子供たちがローソクを持って並んでいました。そのとき、いたずらな男の子がローソクで遊んでいて女の子のヴェールに火がついてしまったのです。大変なことになったのを覚えています。初聖体を受ける前の段階がむずかしかったです。私は神父様やシスターから出された宿題ができなくて、少なくとも3回落とされました。一生懸命覚えてきても神父様やシスターの前に出ると、どきどきしてしまって答えられなくなって、覚えたものも口から出なくて落とされました。もう一度家で勉強してくるように言われるのです。昔は覚えなければならぬことが沢山ありました。今の初聖体の勉強は少ししかないから、昔と比べたらないも同然です。40年経っても教えられたことは心に残っています。

今日初聖体を受けるこの子ども達も、昨日2時から5時まで試験と赦しの秘蹟を受けました。“主の祈り” “マリア様への祈り” “詠唱” “信仰宣言” を覚えてくるように言われて、覚えられなかったら初聖体は受けられないと強く言いました。一人ずつ告解部屋に入って、私に覚えてきた祈りと赦しの秘蹟を受けたんです。そのとき、男の子5・6人は合格できなかったので、「今晚、夜通し覚えなさい。明日のミサの中で一人ずつ言わせませよ。」とおどかしました。（笑い）親たちも赦しの秘蹟を受けられました。お母さんたち、日本ではカトリック信者ではない場合、子供が生まれるとどこに連れて行きますか？ 神社でしょう。神社にお参りに行きますね。人が死んだらどこに行きますか？ お寺ですね。それと同じような気持ちで子供に初聖体を受けさせてはいけません。親は子供の何倍も、自分の子の初聖体のために準備しなければならないんです。お母さんたち、どの位子供たちのために祈りましたか？ 食事の前に十字を切る位しかしてこなかったんじゃないですか？ 子供だけがきれいな心になって、親がきれいな心にならなかつたら意味がないでしょう？

今日子供たちはイエス様の子供になりました。今日の日を迎えるために結構叱られました。私は少し厳しくしました。ご聖体は罪を犯したら赦しの秘蹟を受けてから頂くことをしっかり心に刻まなければなりません。この子供たちが未来の教会を作ります。ですから子供たちのために心を配って、皆様が信仰的姿を見せることが大切です。今日のこのミサの雰囲気、沢山の人が祝ってくれたことを、子供たちは忘れられないと思います。大人になってからも思い出すでしょう。お金を儲けて食べる物を与えることだけが親の仕事ではありません。子供たちの心を育て信仰を大切にするように、親らしく子供たちを育てましょう。

今日は何の日ですか？ 日本では簡単に「キリストの聖体の祝日」と言っていますが、正確に言うと

「イエス・キリストの聖なる身体と聖なる血の祝日」です。正しいことを申し上げたいと思います。色々な事によって混乱され迷う時には伝統的な美しい教えに従って下さい。現代は信仰的な面で簡潔になり、しなくてよいことが増えました。しかし、変わってはいけないことが幾つかあります。そのひとつはご聖体を受ける私たちの心のことです。ご聖体侮辱罪ってなんですか？ ご聖体を侮辱するってどうゆうことですか？ 昔はご聖体を頂く前は朝から食事をとってはいけなかったですね。それ位、身体もきれいにしてから頂いたのがご聖体です。もし、ご聖体がイエス様のお身体であるという実感があれば、たやすくご聖体に手を伸ばすことはできないでしょう。

ご聖体はこのような心で受けるべきです。ちょっとだけでも罪を感じたら、赦しを求めましょう。信仰は神様との勝負です。沢山の聖人たちもご聖体を頂くために必死で自分と戦いました。ご聖体に対する信仰心を大切にしてきました。誰かを憎んだり、いじめたり、悪口を言ったことがあったら、ご聖体を頂く前に赦しを頂きましょう。ご聖体のために命を懸けるほどの信仰を求めましょう。カトリック教会の真ん中にあるのがご聖体です。聖堂の中で静かにというのにはわけがあるのです。身体で感じて下さい。帽子をかぶったままや、サンダルのようなものそのまま、又乱暴にドアを開けて聖堂に入ってきたりしないように。ここは祈りの場所ですから。

この子供たちと皆様の祈りをひとつにして、イエス様とひとつになる恵みを求めましょう。

ありがとうございました。